

平成27年10月入学

平成28年4月入学

大 学 院

生物システム応用科学府

(B A S E)

食料エネルギーシステム科学専攻

一貫制博士課程

学生募集要項

東 京 農 工 大 学

本学府のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれずに幅広く学生を受け入れます。

高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を広く国内外から受け入れます。

教育指導予定教員との連絡について（必須）

出願にあたっては、志望する教育指導教員（後述）と連絡をとり、研究内容及び試験日程等の確認を必ず行ってください。また、事前に研究指導予定教員（後述）へ連絡し、今後の研究計画等の進め方について打ち合わせを必ず行ってください。

生物システム応用科学府（BASE）事務室

**平成27年10月入学・平成28年4月入学
食料エネルギーシステム科学専攻 入試実施内訳**

事項		一般選抜		外国人留学生 特別選抜	審査内容
		筆答試験免除	筆答試験		
出願資格認定の事前審査		△ 申請する場合	△ 申請する場合	△ 申請する場合	志望理由書 成績証明書等 提出書類
筆答試験免除による選抜		○	/	/	成績証明書 面接
①書面審査		○	○	○	入学申請用紙
②学力検査	筆答試験 (基礎)	免除	○ 4月入学者のみ	/	筆答試験 (基礎) 成績証明書
	筆答試験 (小論文)	免除	○ 10月入学者のみ	/	筆答試験 (小論文) 成績証明書
	口述試験	/	/	○	口述試験 成績証明書
③面接審査		○	○	○	面接

平成27年10月入学・平成28年4月入学
東京農工大学大学院生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）
学生募集要項

1 本専攻の特徴

本専攻では、高度な実践型研究人材として、食料、エネルギー、環境の相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦でき、複合領域に跨がる広い専門分野の人材を統率できるリーダーとして幅広い分野の専門家と連携したチームを作り、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材の養成を目的としており、下記のような特色を有しています。

○ 5年一貫教育システム

従来の博士前期課程（2年）と博士後期課程（3年）を貫いた、5年一貫教育システムを採用しています。従来の博士前期課程の1、2年次を“Pre D”、“D0”と呼び、従来の博士後期課程をD1～D3とした5年一貫教育とすることにより、従来の2年と3年の間の区切りをなくして、戦略的な実践型教育が可能となります。

○ 研究室ローテーション等による横断的複数研究指導

学生は、本専攻に所属する専任教員を教育指導教員（後述）とするほか、多角的な視野の形成と複合領域の技術的理解を達成するため、本専攻あるいは本専攻以外の教員を研究指導教員（後述）としてPre DからD0の間、合計3名（研究指導教員A、B、C）を選択し、研究分野をまたがった研究指導を受けることとなります。

○ 四学期制の導入

四学期制（クォーター制）を導入し、学生それぞれの方向性に応じて海外留学など国際的な活動を柔軟に取り込める仕組みとなっています。

2 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備考
食料エネルギーシステム科学	10名	募集人員には、外国人留学生若干名を含む。

平成27年10月入学者、平成28年4月入学者の募集を併せて実施します。

3 出願資格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに卒業見込みの者。
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに学位を授与される見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。

- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに修了見込みの者。
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに修了見込みの者。
- ⑥ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに修了見込みの者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)。
- ⑧ 個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する月(10月又は4月)の1日現在22歳に達した者。
- ⑨ 入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。

注) 1. 「出願資格⑧⑨」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行うので、必ず6月30日(火)～7月1日(水)の期間中に生物システム応用科学府(BASE)事務室に必要書類を提出してください。(7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照してください)

2. 「出願資格①～⑦」に該当する者は、筆答試験免除を希望することができます。(4頁「選抜方法」を参照してください)

(2) 外国人留学生特別選抜の出願資格

次の1)、2)のすべてに該当する者とします。

- 1) 外国籍を有する者(日本国永住許可を得ている者は除く。)
- 2) 出入国管理及び難民認定法において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は受験の際に有する見込みのある者で、次の各号のいずれに該当する者。
 - ① 大学を卒業した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに卒業見込みの者。
 - ② 学校教育法(昭和22年法律第6号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに学位を授与される見込みの者。
 - ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに修了見込みの者。
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに修了見込みの者。
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに修了見込みの者。
 - ⑥ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに修了見込みの者。
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑧ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する月(10月又は4月)の1日現在22歳に達した者。
 - ⑨ 入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。

ただし、10月入学希望者にあつては、平成27年9月卒業見込みの者、4月入学希望者にあつては、平成28年3月卒業見込みの者を除く。

注)「出願資格⑧⑨」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行うので、必ず6月30日(火)～7月1日(水)の期間中に生物システム応用科学府(BASE)事務室に必要書類を提出してください。(7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照してください。)

4 出願期間

平成27年7月16日(木)～7月23日(木)まで

窓口受付時間：9時30分～11時30分、13時30分～16時

※筆答試験免除を希望する者は、平成27年7月2日(木)から7月3日(金)までの間に出願してください。

5 出願手続

東京農工大学卒業見込みの者は、出願書類を出願期間中に大学院生物システム応用科学府事務室に持参してください。

また、他大学卒業見込みの者、社会人等の志願者のうち郵送にて出願する場合は、出願書類を必ず書留速達としてください。

出願期間中に大学院生物システム応用科学府事務室に到着したものを受理します。

(1) 出願書類

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	志望する教育指導教員及び主たる研究指導教員に必ず連絡をとり、あらかじめ了承を得てください。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	1) 写真票・受験票には、志願者本人と確認できる写真(脱帽上半身でタテ4cm×ヨコ3cm)を貼付してください。 2) 志望する教育指導教員欄には、志願票に記入したものと同一の教員名を記入してください。
C	入 学 申 請 用 紙 (書 面 審 査 用 書 類) (所 定 様 式)	1) 受験番号・氏名を記入の上、本専攻の志望動機、卒業研究概要(卒業研究がない場合は、学部時の研究内容)とそれを踏まえた今後の研究の現時点での展望と本専攻の教育目的との関連、本専攻修了後の将来構想について、それぞれ日本語で400字以内、もしくは英語200単語以内で記述してください。(A4サイズ1枚程度) 2) 筆頭試験免除による選抜を希望する者は、7/2(木)～7/3(金)出願時ではなく、7/16(木)～7/23(木)期間中の提出でも構いません。
D	卒 業 (見 込) 証 明 書 又 は 学 位 授 与 (申 請) 証 明 書	1) 出願資格①、③に該当する者は、出身大学(学部)長が作成した卒業(見込)証明書とします。 2) 出願資格②に該当する者は、学位授与機構長が作成した学位授与(申請)証明書若しくは、出身学校長が作成した学位授与申請証明書。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はありません。
E	成 績 証 明 書	1) 最終卒業の学校(学部)長が作成し厳封されたもの。 2) 本学卒業見込みの者は、提出する必要はありません。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はありません。
F	学 歴 等 調 書 (所 定 用 紙)	1) 外国人及び出願資格③に該当する者。 2) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はありません。
G	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込金受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出してください。〕
H	受 付 用 シ ー ル 及 び 連 絡 受 信 先 シ ー ル (所 定 用 紙)	必要事項を記入してください。提出後、住所等の変更があった場合は速やかに大学院生物システム応用科学府事務室に連絡してください。
I	そ の 他	1) 外国人は、住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。)又はパスポートの写しを提出してください。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出してください。

(2) 出願書類提出先

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16
東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 (BASE) 事務室
東京農工大学小金井キャンパス BASE本館 (2階)

6 選抜方法

入学試験は、書面審査及び学力検査、面接審査を実施し、これらを総合的に評価し、合否判定を行います。

なお、書面審査で不合格となった者は、学力検査、面接審査を受験することができません。

また、学力に優れたことが証明される者に対して、学力検査を免除する制度（筆答試験免除による選抜）があります。筆答試験免除を希望する者は、事前に志望する教育指導教員及び研究指導教員と必ず連絡をとって下さい。

身体に障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を希望する方は、大学院生物システム応用科学府事務室まで申し出て下さい。

[1] 書面審査

本専攻の趣旨の理解度と本専攻の学生としての資質を評価するため、出願時に提出する「入学申請用紙（所定用紙）」による書面審査を実施します。

- ① 審査内容：卒業研究内容、進学目的及び動機、研究プラン、将来展望などについて
- ② 審査結果：平成27年8月5日（水）に発送します。

[2] 学力検査

1) 一般選抜

一般選抜は学力検査各科目を総合的に評価し、合否判定を行います。

ただし、筆答試験免除を希望する者に対しては、提出された成績証明書等による成績確認及び面接により筆答試験免除の資格判定を以下のとおり行います。

(1) 筆答試験免除による選抜

- ① 出願受付期間 平成27年7月2日（木）～7月3日（金）
- ② 資格判定（成績確認及び面接）実施期間 平成27年7月7日（火）～7月9日（木）
- ③ 資格判定の結果は、平成27年7月13日（月）に発送します。

資格判定の結果、筆答試験を免除されなかった者も、次の(2)により筆答試験を受験することができます。

(2) 筆答試験による選抜

試験科目

※ 外国語（英語） 100点満点	<p>外部の英語資格試験（いずれか一つ）のスコアシート（成績証明書）の原本を提出すること。</p> <p>(1) 本学が指定する外部の英語資格試験は、TOEIC公開テスト、TOEIC-IPテスト（本学実施に限る）、TOEFL PBT、TOEFL iBTとする。</p> <p>(2) 出願書類として提出するスコアシートは、TOEIC、TOEIC-IPテストの場合、Official Score Certificate（公認認定証）の原本とする。TOEFL PBT、TOEFL iBTの場合、Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）の原本とする。</p> <p>(3) スコアシート（成績証明書）原本は、当該試験願書提出期限から遡って2年以内に受験したものに限り、その理由が認められた場合に限り、受験当日までの提出を認める。</p>
基礎 100点満点	<p>筆答試験 ※4月入学者のみ受験</p> <p>以下の16題の中から任意の4題を選択する。</p> <p>1.解析学、 2.線形代数学、 3.フーリエ及びラプラス変換、 4.確率及び統計学、 5.力学、 6.電磁気学、 7.光学及び波動、 8.情報基礎、 9.物理化学、 10.有機化学、 11.無機化学、 12.分析化学、 13.分子生物学、 14.細胞生物学、 15.生理・生化学、 16.生態学</p>
小論文 100点満点	<p>筆答試験 ※10月入学者のみ受験</p>

◎TOEICのスコアを100点満点に換算します。

※本学府が定めるTOEIC以外（TOEFL PBT、TOEFL iBT）の外部テストスコアのTOEICスコアへの換算については、**BASE事務室にお尋ねください。**

日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
8月20日(木)	詳細については別途お知らせします。	学力検査 (筆答試験)	東京農工大学小金井キャンパス内 詳細については別途お知らせします。

2) 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜は、学力検査（口述試験）と提出された成績証明書による成績確認の結果を総合して合否判定を行います。

日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
8月21日(金)	詳細については別途お知らせします。	学力検査 (口述試験)	東京農工大学小金井キャンパス内 詳細については別途お知らせします。

〔3〕面接審査

本専攻の趣旨の理解度と本専攻の学生としての資質を評価するため、外部評価委員を含めた本学担当者による面接審査を実施します。

○ 審査内容：卒業研究内容、進学目的及び動機、研究プラン、将来展望などについて

日時及び場所：

月 日	時 間	科 目	場 所
8月22日(土)	詳細については別途お知らせします。	面接審査	東京農工大学小金井キャンパス内 詳細については別途お知らせします。

7 合格者発表

平成27年9月7日（月）午前10時に小金井キャンパス BASE本館1階掲示板
合格者には受験票により確認のうえ合格通知書等を郵送します。

8 入学手続

(1) 平成27年10月入学者

日時：平成27年9月17日（木）13時30分～16時

場所：小金井キャンパス内BASE本館1階講義室（予定）

(2) 平成28年4月入学者

日時：平成28年3月17日（木）13時30分～16時

場所：小金井キャンパス内BASE本館1階講義室（予定）

(3) 入学に要する費用

① 入学料……282,000円

② 授業料

平成27年10月入学者……後期分 267,900円

平成28年4月入学者……年額 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 必要書類等

他の大学院に在学中の方は退学証明書を提出してください。なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがあります。

(5) その他

身体に障害があり、修学上特別な措置を希望する方は、大学院生物システム応用科学府事務室へ申し出てください。

9 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する教育指導教員に連絡し、事前に確認を得てください。
- (2) 学力検査には、必ず受験票を携帯してください。
- (3) 試験日には、筆記用具を持参してください。
- (4) 出願手続後における提出書類の内容変更は認められません。
- (5) 本要項及び大学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合があります。
- (6) 入学試験に関する照会先は、出願書類提出先となります。
- (7) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布します。
- (8) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻せませんので、ご留意願います。

10 指導教員

本専攻に進学する学生は、以下の2種類の指導教員により、教育研究上の指導を受けます。

志望する教育指導教員及び主たる研究指導教員（研究指導教員A）について、それぞれの指導教員名を入学志願票（所定用紙）に記載して下さい。

(1) 教育指導教員

本専攻の8名の専任教員が担当します。キャリア開発プログラム、研究指導B、Cの選択方法、海外研修、共同研究等を研究指導教員と相談しながら助言するなど本専攻のカリキュラム受講をサポートする教員です。

また、志望する主たる研究指導教員については、教育指導教員に事前に必ず報告あるいは相談してください。

教育研究分野名	教 員 名
物質エネルギーシステム	教 授 神 谷 秀 博
物質エネルギー設計	准教授 富 永 洋 一
エネルギーシステム解析	教 授 秋 澤 淳
生物情報計測システム	准教授 榊 田 晃 司
生態系型環境システム	教 授 豊 田 剛 己
生物応答制御科学	准教授 梅 澤 泰 史
食料安全科学	教 授 佐 藤 令 一
環境モニタリングシステム	准教授 赤 井 伸 行

(2) 研究指導教員

本専攻及び本学の工学府博士前期課程、農学府修士課程、生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻博士前期課程のいずれかの教員を主たる研究指導教員（研究指導教員A）とすることが可能です。教育指導教員が主たる研究指導教員を兼ねることも可能です。

また、志望する教育指導教員については、主たる研究指導教員に事前に必ず報告または相談してください。

(3) 補足説明

本一貫制博士課程では、上記（2）の研究指導教員に加えて、入学後にさらに2名の研究指導教員（研究指導教員B、C）を選ぶことになっています。この制度の詳細については、入学後に説明します。

11 出願資格認定の事前審査について

出願資格の認定については、以下のとおりに事前審査を行いますので、事前審査申請書類受付期間中に必要書類をそろえ大学院生物システム応用科学府事務室に提出してください。

(1) 出願資格認定を要する者

- 1) 一般選抜の出願資格⑧⑨に該当する者。
- 2) 外国人留学生特別選抜の出願資格⑧⑨に該当する者。
- 3) 学校教育における課程が16年に満たない者。

(2) 事前審査申請書類受付日時

受付期間……平成27年6月30日（火）～7月1日（水）

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時

受付場所……小金井キャンパスBASE本館（2階）大学院生物システム応用科学府事務室

(3) 必要書類

事前審査申請書	所定用紙
志望理由書	所定用紙
学歴等調書	所定用紙
最終学校の成績証明書及び卒業証明書	1) 最終学校長が作成し厳封したもの 2) 出願資格⑨については、成績証明書のみ 3) 出願資格⑧については、卒業後10年以上経過した者は卒業証明書のみ
研究報告書等	1) A4用紙を使用し書式自由 2) 印刷物等がある場合は代用可 3) 出願資格⑧に該当する者のみ提出すること

(4) 事前審査日時

詳細は、おって通知します。

(5) 事前審査結果発表

平成27年7月8日（水）午前10時に小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表します。

(6) 出願資格が認定された者の出願手続

事前審査の結果、出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様の出願手続を行ってください。

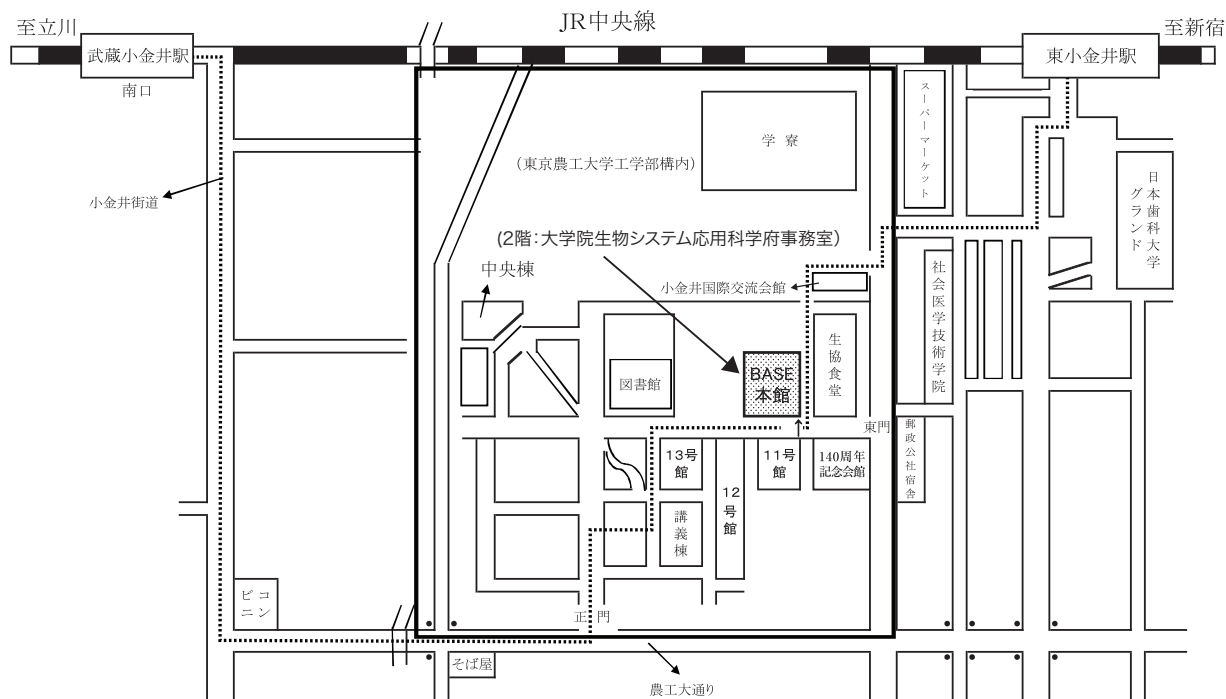
12 「リーディング大学院プログラム」担当教員名簿

本専攻のカリキュラムの立案や実施・運営等にご協力いただいている「リーディング大学院プログラム」の担当教員です。

名 前	所 属	備 考
國見 裕久 クニミ ヤスヒサ	理事（教育担当）・副学長	プログラム責任者
千葉 一裕 チバ カズ ヒロ	連合農学研究科・応用生命科学専攻・教授	プログラムコーディネーター
宮浦 千里 ミヤウラ チサト	生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻・教授	副プログラムコーディネーター
養王田 正文 ヨオダ マサフミ	工学府・生命工学専攻・教授	副プログラムコーディネーター
細見 正明 ホソミ マサアキ	工学府・応用化学専攻・教授	
有江 力 アリエ ツトム	連合農学研究科・生物生産科学専攻・教授	
萩原 勲 オギ ワラ イサオ	連合農学研究科・生物生産科学専攻・教授	
高橋 信弘 タカハシ ノブ ヒロ	連合農学研究科・応用生命化学専攻・教授	
蓮見 恵司 ハスミ ケイジ	連合農学研究科・応用生命化学専攻・教授	
伊豆田 猛 イズタ タケシ	連合農学研究科・環境資源共生科学専攻・教授	
木庭 啓介 コバ ケイスケ	連合農学研究科・環境資源共生科学専攻・准教授	
酒井 憲司 サカイ ケンシ	連合農学研究科・農業環境工学専攻・教授	
澁澤 栄 シブ サワ サカエ	連合農学研究科・農業環境工学専攻・教授	
下田 実 シモダ ミノル	農学部・獣医学科・教授	
田中 あかね タナカ アカネ	生物システム応用科学府・共同先進健康科学専攻・教授	
田中 剛 タナカ ヲヨシ	生物システム応用科学府・共同先進健康科学専攻・教授	
大川 泰一郎 オオカワ タイイチロウ	連合農学研究科・生物生産科学専攻・准教授	
長澤 和夫 ナガ サワ カズ オ	工学府・生命工学専攻・教授	
直井 勝彦 ナオイ カツヒコ	工学府・応用化学専攻・教授	
渡辺 敏行 ワタナベ トシユキ	工学府・応用化学専攻・教授	
熊谷 義直 クマガイ ヨシナオ	工学府・応用化学専攻・准教授	
亀田 正治 カメダ マサハル	工学府・機械システム工学専攻・教授	
中村 暢文 ナカムラ ノブ フミ	工学府・生命工学専攻・教授	
三沢 和彦 ミサワ カズ ヒロ	工学府・物理システム工学専攻・教授	
内藤 方夫 ナイトウ ミチオ	工学府・物理システム工学専攻・教授	
白樫 淳一 シラカシ ジュンイチ	工学府・電子情報工学専攻・教授	
大野 弘幸 オノ ヒロユキ	工学府・生命工学専攻・教授	

13 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約25分) 南口から徒歩約 8 分
武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町 2 丁目24-16 ☎ (042) 388-7173 (直通)

東京農工大学大学院生物システム応用科学府

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL. <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外の目的に利用することはありません。

受 験 番 号
※

平成 27 年10月入学 東京農工大学大学院
 生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 一貫制博士課程

入 学 志 願 票

筆答試験免除を		<input type="checkbox"/> 申請する。 <input type="checkbox"/> 申請しない。	
一 般 選 抜・外国人留学生特別選抜 (希望する選抜に○印をつける)			
志望する教育指導教員		研究指導予定教員	
教 員 名	所属学府・専攻	教員名	
ふ り が な 氏 名			男 ・ 女
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生		
本 籍 国籍又は地域	都・道・府・県 国・地域		
現 住 所	(〒 -)	電話 ()	
連 絡 場 所	(〒 -)	電話 () E-mail: ()	
出 願 資 格	大学 学部 学科 平成 年 月 日 卒業・見込み		
学 歴 及 び 職 歴	昭和 年 月 立 高等学校卒業		
	昭和 年 月 大学 学部入学		
	昭和 年 月 大学 学部 卒業 卒業見込		
	昭和 年 月		
	昭和 年 月		
	昭和 年 月		

注) 1. ※印欄には記入しないこと 2. 該当する文字を○で囲むこと

平成27年
10月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

写 真 票

ふりがな 氏 名	
生年月日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄

1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 ※印欄には記入しないこと。

平成27年
10月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

受 験 票

ふりがな 氏 名	
生年月日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄

1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
2 ※印欄には記入しないこと。

受 験 番 号
※

平成 28 年 4 月 入 学 東 京 農 工 大 学 大 学 院
 生 物 シ ス テ ム 応 用 科 学 府 食 料 エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 科 学 専 攻 一 貫 制 博 士 課 程

入 学 志 願 票

筆答試験免除を		<input type="checkbox"/> 申請する。 <input type="checkbox"/> 申請しない。	
一 般 選 抜 ・ 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 (希望する選抜に○印をつける)			
志望する教育指導教員		研究指導予定教員	
教 員 名	所属学府・専攻	教員名	
ふ り が な 氏 名			男 ・ 女
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生		
本 籍 国籍又は地域	都・道・府・県 国・地域		
現 住 所	(〒 -)	電話 ()	
連 絡 場 所	(〒 -)	電話 () E-mail: ()	
出 願 資 格	学 部 平成 年 月 日		大 学 学 科 卒 業 ・ 見 込 み
学 歴 及 び 職 歴	昭和 平成 年 月 立		高 等 学 校 卒 業
	昭和 平成 年 月		大 学 学 部 入 学
	昭和 平成 年 月		大 学 学 部 卒 業 卒 業 見 込
	昭和 平成 年 月		
	昭和 平成 年 月		
	昭和 平成 年 月		

注) 1. ※印欄には記入しないこと 2. 該当する文字を○で囲むこと

平成 28 年
4 月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

写 真 票

ふりがな 氏 名	
生年月日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄

1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 ※印欄には記入しないこと。

平成 28 年
4 月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

受 験 票

ふりがな 氏 名	
生年月日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄

1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
2 ※印欄には記入しないこと。

東京農工大学生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻

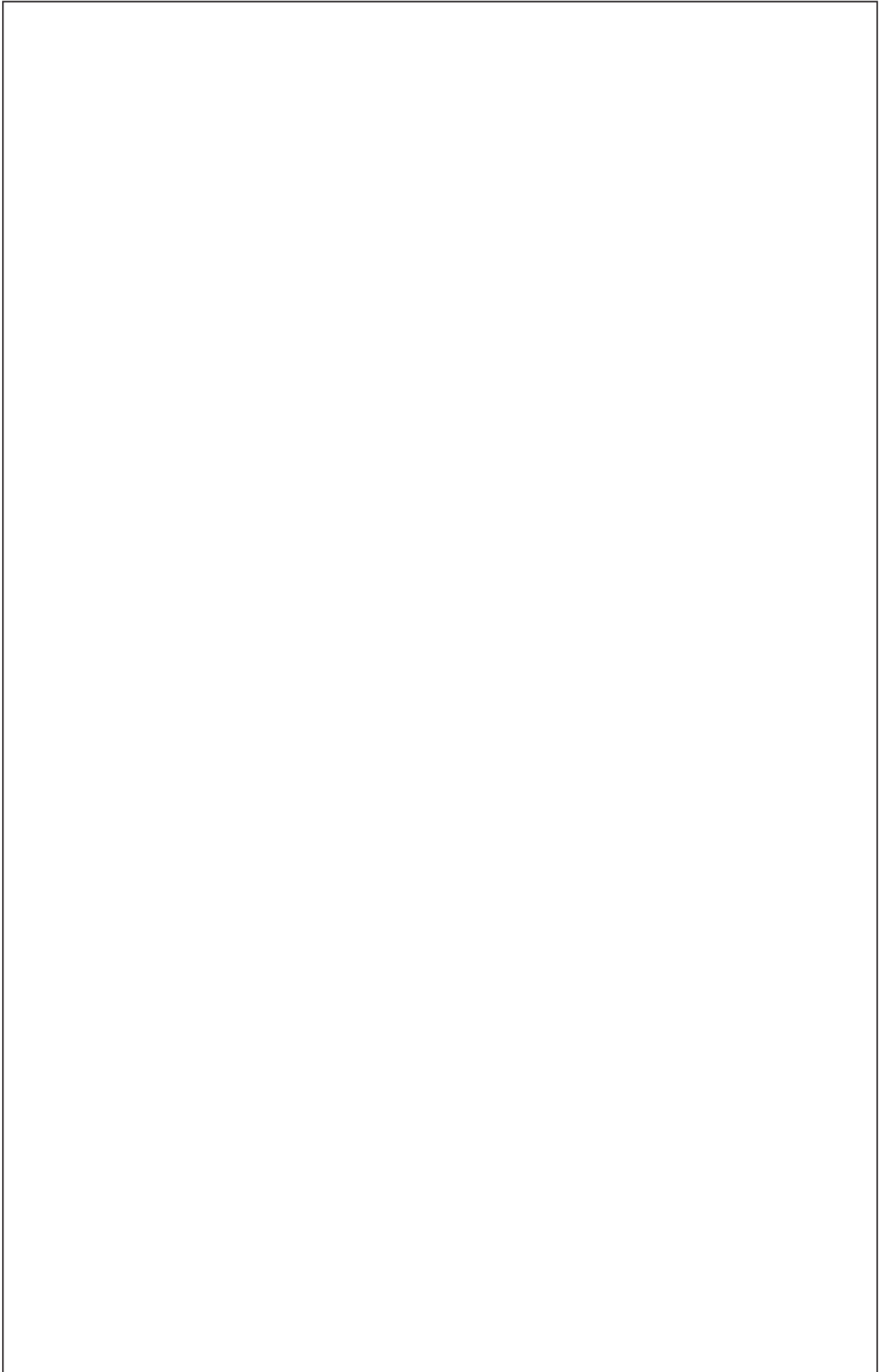
入学申請用紙

受験番号	※	氏名	
------	---	----	--

募集要項と本専攻の教育目的の趣旨に基づき、以下の項目について、それぞれ400字以内（英語なら、200単語以内）で記述してください。（この様式であれば、別紙にて作成可）

1. 志望動機
2. 卒業研究概要（卒業研究がない場合には、学部時の研究内容）
3. 今後の研究についての展望と本専攻の教育目的との関連
4. 本専攻修了後の将来構想

注) 1 ※印欄には、記入しないこと。



学 歴 等 調 書

【外国人、出願資格③⑧⑨により出願する者】

フリガナ		受験番号	※
氏 名	⑩	性 別	男 ・ 女
生年月日	年 月 日 (歳)	国 籍	

学 歴

	学 校 名	所 在 地	正 規 の 修 学 年 数	入 学 年 月 卒 業 年 月	学 位 ・ 資 格
小 学 校 又 は 初 等 教 育			年	年 月 年 月	
中 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月	
高 等 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月	
大 学 又 は 高 等 教 育			年	年 月 年 月	
			年	年 月 年 月	
			年	年 月 年 月	
以上を通算した全学校教育修学年数			年	年	

職 歴

勤 務 先	所 在 地	勤 務 期 間	役 職	勤 務 内 容
		年 月 年 月		
		年 月 年 月		
		年 月 年 月		
以上を通算した全勤務年数		年		

【出願資格認定の事前審査を申請する者】

平成 年 月 日

事前審査申請書

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

志願者 氏^{ふりがな}名

④

今般、貴大学大学院生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻一貫制博士課程に入学を志願するに当たり、事前審査を受けたく、所定の書類を添えて申請しますので、よろしくお願ひします。

【出願資格認定の事前審査を申請する者】

志願者番号

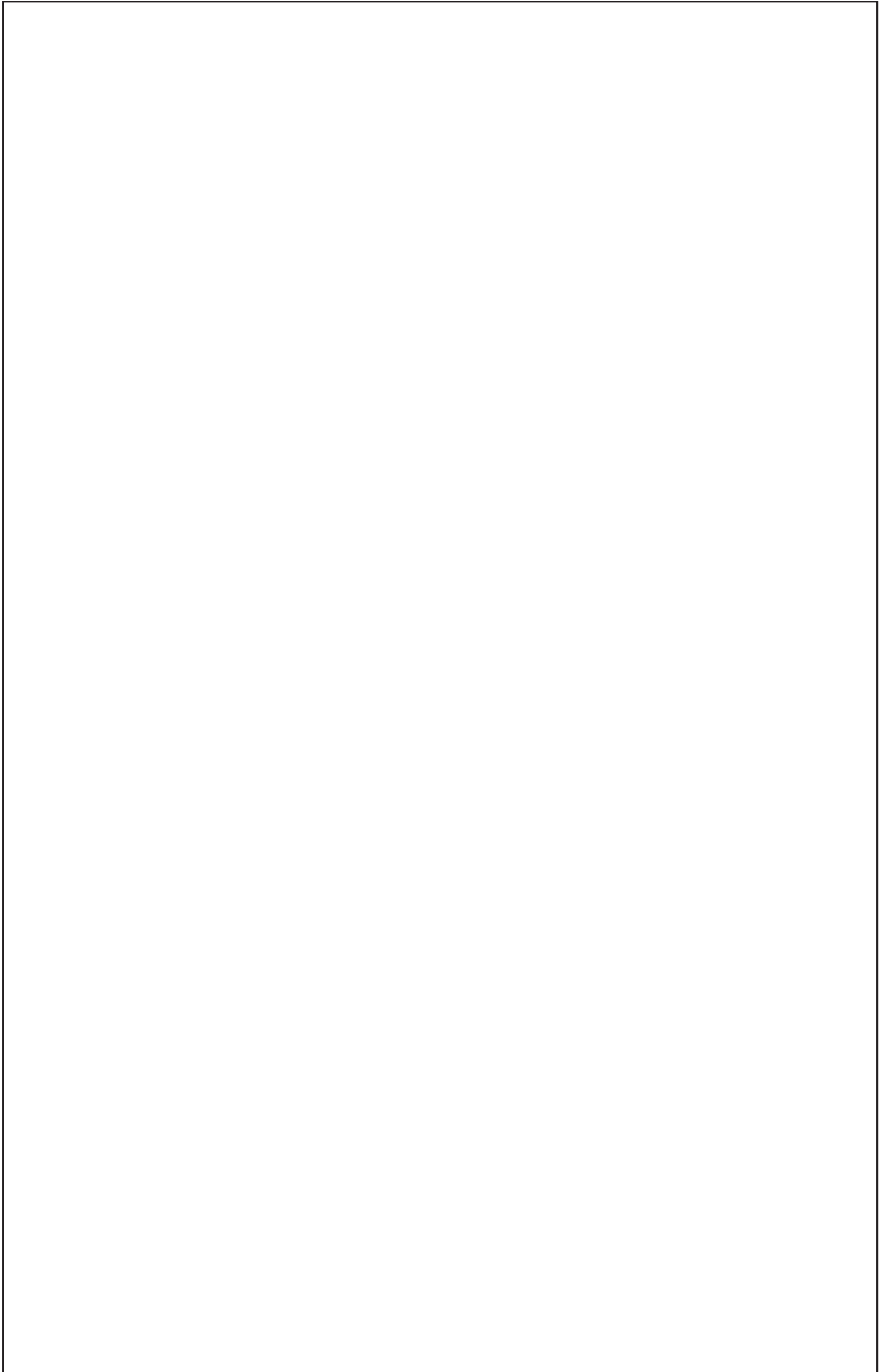
※

志 望 理 由 書

氏 名 _____

◎ 志望理由、過去の研究歴や研究内容と入学後において希望する研究内容との関係等について400字以内（英語なら200単語以内で記述してください。（この様式であれば、別紙にて作成可）記入してください。

注) 1 ※印欄には、記入しないこと。



入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

「振替払込受付証明書」を
貼り付けてください。

(注意)

1. 郵便局・ゆうちょ銀行の受付
日附印がないものは無効です。
2. 振替払込受付証明書の所定欄
に志願者住所・氏名を必ず記
入してください。
3. 振替払込請求書兼受領証は大
切に保管し、ここに添付して
はいけません。
4. 納入された入学検定料は原則
返還しません。

※印欄は記入しないでください。

入学検定料払込用紙

- ・本払込用紙に、志願者（ご依頼人）の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- ・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。（受付局日附印のないものは無効）
- ・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

切 り 取 っ て ご 使 用 く だ さ い

払 込 取 扱 票

00	口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	2	0	8	4	6	3	4	2	6			3	0	0	0	0		
加入者名	国立大学法人 東京農工大学										料金				備考					
通信欄	※ 平成28年度 入学検定料 東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻 一貫制博士課程 支払期限 平成27年7月23日 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。																			
ご依頼人	志願者住所（郵便番号） ※ 志願者氏名（フリガナ） 様 （電話番号 - -）										日附印									

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	2	0	8	百	十	万	千	百	十	番
			4	6	3	4	2	6					
加入者名	国立大学法人 東京農工大学												
金額	千	百	十	万	千	百	十	円					
				3	0	0	0	0					
ご依頼人	志願者氏名（フリガナ） ※ 様												
料金	(消費税込み) 日附印 円												
備考													

振替払込受付証明書（お客さま用） 〔大学提出用〕

（払込人⇨郵便局⇨払込人）

口座記号番号	00120-8-463426												
加入者名	国立大学法人 東京農工大学												
金額	千	百	十	万	千	百	十	円					
				3	0	0	0	0					
ご依頼人住所氏名	※（志願者住所氏名）												
	平成28年度 入学検定料 大学院生物システム応用科学府 受付局日附印のないものは無効												
	日附印												

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください
切り取らないでお出しください

切り取らないでお出しください

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (私製承認東第43999号)

これより下部には何も記入しないでください。

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

志願者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。

- ① ※印欄は記入しないでください。
- ② このシールは、台紙にのり付けされたままの状態でご提出してください。

受付用シール

氏名	性別	出身大学	大学記入	教育指導教員	研究指導 予定教員	入学期	学籍番号 (本学卒業 見込み者)	備考
ふりがな	男・女	大学	※			平成27年10月 平成28年4月		※
(昭和・平成) 年 月 日生		学部 学群	学科 学類 課程			年 月卒業・卒業見込・在学中		

連絡受信先シール

このシールは、「入学手続き類」、その他連絡事項を送付する場合の宛名として使用します。

郵便番号	〒 — _____	〒 — _____	〒 — _____
住所	_____ _____ _____	_____ _____ _____	_____ _____ _____
氏名	_____ _____ 殿 (※)	_____ _____ 殿 (※)	_____ _____ 殿 (※)